

## わくわくエブリスタディ・国語 12

## よみとりとよむ



## 「夏の 王さま」

おうちのかたへ 今回の読み物のねらい  
登場人物の心情を考えて読む。  
描写された事柄から事物の様子を想像する。

ぼくが ギンヤンマを見つけると、ひなこはわらって、くるくる回りました。



そのとき、ふつとあたりがくらくなつた。  
見上げると、高い空に、ひこうきみたいな  
でっかいとんぼがうかんでいた。  
(王さまだ！)  
ぼくが心の中でさけんだとき、  
'王さまだ！オニヤンマ！'  
同じことをひなこが言つた。  
ぼくは、あみをつかんでとんだ。

1 上の文を声に出して読みましょう。

2 は、ぼくが心の中でさけんだ  
ことはです。どのように読むといいか  
考えて、声に出して読みましょう。

3 とあります、オニヤンマをつかまえたしゅんかん、ぼくはどのように  
かんじましたか。

月   日

5 いつしゅん、体がうかんだ気がした。

4 ひなこは、つかまえたオニヤンマの大きさをどのようにかんじましたか。

5 問題文の描写から「王さま」であるオニヤンマの姿を絵に描いてみる取り組みです。描く前に「お話では、オニヤンマのことがどんなふうに書いてあるかな?」などと問い合わせて、オニヤンマの特徴をとらえさせましょう。

お手元に紙を用意してから取り組んでください。

出典★高木ひづり「なつのむつやほ」ボブロ社刊より



5 いつしゅん、体がうかんだ気がした。

4 ひなこは、つかまえたオニヤンマの大きさをどのようにかんじましたか。

5 問題文の描写から「王さま」であるオニヤンマの姿を絵に描いてみる取り組みです。描く前に「お話では、オニヤンマのことがどんなふうに書いてあるかな?」などと問い合わせて、オニヤンマの特徴をとらえさせましょう。

お手元に紙を用意してから取り組んでください。

## 今回の学習のねらい

## ほめ方のポイント

- 登場人物の心情を考えて読む。
- 描写された事柄から事物の様子を想像する。

## 支援のポイント

- 2 「どんな気持ちで読むといいかな?」あるいは「とんぼの王さまを見つけたとき、○○ちゃんならどんな気持ちになるかな。」などと語りかけ、「ひこうきみたいでっかいとんぼ」を見つけた感動を表現するのにふさわしい読み方を考えてもらいましょう。「心の中で」叫んだという記述から、声を殺すように読んでもよいでしょう。

4 ひなこの会話文を見つけて感動を読み取ることがポイントです。「ひこうみみたい」「たからものみたい」と答えた場合は、「ひなこが思つたことが書いてあるところは、ほかにあるよ。」「大きさはどう感じているかな。」と問い合わせましょう。

5 また、例えば「とらみたいにりつぱなかた」を描くために肩を極端に大きくしたり、「たからものみたいに」星を散りばめたりするというように、子どもは印象に残つたことを強調して描く傾向があります。どうしてそのような絵にしたのか、理由を説明してもいいかもしれません。

2 音読の学習では、すすんで工夫して読もうとする態度をまず評価してあげてください。ここでは「王さま」を見て読むことになりますが、「ぼく」の気持ちをお子さまで工夫して読めていると認められれば、「『ぼく』の気持ちを考えて、上手に読めたね。」「王さまを見つめた『ぼく』の気持ちがよくわかる読み方だったよ。」といった言葉でほめてあげましょう。

2 音読の学習では、すすんで工夫して読もうとする態度をまず評価してあげてください。ここでは「王さま」を見て読むことになりますが、「ぼく」の気持ちをお子さまで工夫して読めていると認められれば、「『ぼく』の気持ちを考えて、上手に読めたね。」「王さまを見つめた『ぼく』の気持ちがよくわかる読み方だったよ。」といった言葉でほめてあげましょう。